

# 清水町議会 全員協議会説明資料

清水町人口ビジョン・総合戦略における

平成 29 年度実施事業評価について

## 【添付資料】

平成 29 年度清水町人口移動集計表【資料 1】

清水町人口ビジョン・総合戦略【平成 29 年度実施事業評価】【資料 2】

清水町総合計画審議会会議結果（要約）【資料 3】

清水町総合計画審議会説明資料

平成 30 年 6 月 19 日

清 水 町

【資料1】

平成29年度(2017年度) 清水町人口移動集計表

	転入					出生	転出					死亡	その他 増減	世帯数	人口
	管内	道内	道外	国外	合計		管内	道内	道外	国外	合計				
3月末														4,677	9,647
4月末	25	31	15	0	71	2	37	18	10	1	66	11		4,699	9,643
5月末	15	7	10	4	36	1	13	3	5	1	22	19		4,705	9,639
6月末	5	7	8	4	24	6	14	4	3	3	24	10	1	4,704	9,636
7月末	12	7	5	5	29	7	7	3	6	1	17	11	-2	4,709	9,642
8月末	6	4	11	3	24	6	16	6	2	2	26	17	-1	4,704	9,628
9月末	10	3	5	4	22	0	12	3	3	0	18	10		4,702	9,622
10月末	7	4	4	3	18	8	7	5	6	4	22	6		4,698	9,620
11月末	8	7	8	2	25	6	16	3	1	2	22	18		4,703	9,611
12月末	8	3	4	2	17	4	8	8	2	4	22	13		4,702	9,597
1月末	3	5	6	0	14	1	16	3	7	0	26	18		4,700	9,568
2月末	6	7	7	0	20	5	14	6	4	0	24	9		4,695	9,560
3月末	31	25	20	0	76	4	40	35	22	2	99	8	-4	4,707	9,529
H29合計	136	110	103	27	376	50	200	97	71	20	388	150	-6		

(H29合計) 転入者数合計 376人 転出者数合計 388人 社会増減 △ 12人  
 出生数合計 50人 死亡者数合計 150人 自然増減 △100人 合計 △112人

人口動態の推移

	社会増減			自然増減					増減
	転入数	転出数	増減	出生数			死亡者数	増減	
				清水地区	御影地区	合計			
H25年度	371	426	△ 55	57	12	69	133	△ 64	△119
H26年度	362	376	△ 14	49	16	65	127	△ 62	△76
H27年度	420	409	11	52	10	62	121	△ 59	△48
H28年度	353	420	△ 67	38	5	43	117	△ 74	△141
H29年度	376	388	△ 12	39	11	50	150	△ 100	△112

# 清水町人口ビジョン・総合戦略

## 【平成 29 年度実施事業評価】

### 事業評価

- 評価区分 A = 重要業績評価指標（KPI）を達成、又は計画期間内の達成が見込まれる  
B = 重要業績評価指標（KPI）を達成するため、更なる推進・強化が必要  
C = 重要業績評価指標（KPI）を達成できないことが見込まれるため、計画の見直し（廃止）が必要  
— = 平成 30 年度以降実施予定の事業

# 1 まちの産業を確立し、安心して働けるようにする

## <基本的方向>

(1) 基幹産業である農畜産業と関連産業の成長による安定した雇用を創出するとともに、高付加価値型商品・サービスを開発する

## <具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<b>農業振興対策事業</b> ・生産性向上、経営負担の軽減、耕畜連携・循環型農業の推進、輪作体系の維持、ブランド化推進に対して支援することにより、持続可能な農畜産業の振興を図る (担当：農林課)	・生乳生産量 5 年後に 12 万 3 千 t  ・デントコーン耕畜連携 作付助成面積 5 年後に 100ha  ・にんにくの作付面積 5 年後に 27ha ・にんにくの販売量 5 年後に 132t  ・堆肥ペレットの販売数 5 年後に 30,000 袋 (1 袋正味 6 kg)	・生乳生産量 H28-120,865t H29-122,627t  ・デントコーン耕畜連携 作付助成面積 206.3ha 助成額 150 万円 (一般財源) ・にんにくの作付面積 20ha ・にんにくの販売量 72.4t 種子生産に対する補助 1/2 以内 助成額 500 千円 (一般財源) ・堆肥ペレットの販売数 44,766 袋 (1 袋正味 6kg) 助成額 6,000 千円 (一般財源)	A	・生乳生産量 12 万トン達成により、KPI を 12 万 3 千 t に修正し、各事業実施により生産増を更に推進する。 ・デントコーン耕畜連携の作付助成面積達成により、助成基準を変更し実施する。 (基準年 H26) ・今後にもんにくの栽培に対し助成し、更に作付面積・販売量増を推進する。  ・1 袋に対し 200 円の助成を実施しているが、今後も継続し販売数増を推進する。

産業振興

<p><b>企業立地促進事業</b></p> <p>・企業の振興と立地を促進し、経済の発展と雇用機会の拡大を図るため、町内に工場や小規模な工房等を新設・増設し、町民を雇用した企業に対して支援する。(担当:商工観光課)</p> <p style="text-align: right;">産業振興</p>	<p>・助成制度による新設・増設件数 5年間で3件</p> <p>・助成制度による町民新規雇用数 5年間で12人</p>	<p>・増設1件(H28から継続分)</p> <p>1. 雇用分2人</p> <p style="text-align: right;">720千円 (一般財源)</p> <p>(平成27~29年度実績)</p> <p>・新增設件数 2件</p> <p>・新規雇用者数 4名 (H24から継続分含)</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>・企業立地の要件とする投資額(新設、増設)の要件は満たすが、雇用の要件(町内在住者、常勤)を満たすことが難しい状況がある。</p> <p>・労働者不足の状況について、分析し対策を考える時期に来ている。</p>
<p><b>バイオマス利活用促進事業</b></p> <p>・家畜ふん尿の有効利用により、資源循環と有機農業を推進し、酪農家のコスト削減等による生産性の向上と雇用創出を図るとともに、環境配慮・安心安全な農業の実施による町のイメージアップを図る。(担当:農林課)</p> <p style="text-align: right;">産業振興</p>	<p>・農業系バイオマスの製造又は供給する施設の処理対象戸数 5年後に5戸</p> <p>・事業による雇用創出数 5年間で10人</p>	<p>・平成29年度までに2基のバイオマスプラントが稼動し、2戸が処理している。</p> <p>平成30年度に参加酪農家9戸による共同処理施設美蔓バイオガスプラントが着手する。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>・施設建設等推進に助成措置などを実施し、農業系バイオマスの稼動及び供給雇用創出数の増を推進する。</p>
<p><b>経営力向上支援事業</b></p> <p>・農業経営者等を対象に、生産技術と知識、ビジネス感覚を高める研修や経営者同士の情報交換の機会を増やし、個人農家の収益向上を図る (担当:企画課・農林課)</p> <p style="text-align: right;">産業振興</p>	<p>・農業従事者1人当たりの収入向上 5年間で5%増</p>	<p>アグリビジネススクール開催</p> <p>・受講者数 17名</p> <p>・講座回数 6回</p> <p>・シンポジウム 来場者数 35名 事業費 1,149千円 (農業産出額)</p> <p>H27 1,678千円 H28 1,828千円 H29 2,176千円</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>・受講者からの継続要望が強く、昨年度受講者17名を対象に中級コースを実施し、農業経緯、新技術、土づくり等の講座を通じ受講生の農業に対する理解が深まった。</p> <p>今後も受講者のニーズに併せ実施していく。</p>

<p><b>農業研修生受入事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農を目指す若者・女性の農業研修生受入を支援する</li> </ul> <p>(担当：農林課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業研修修了生 5年間で100人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に農業研修生受入推進の仕組みや受入れ体制構築に向けた調査委託を実施し、農業研修生受入推進協議会を設立し、先進地視察等を実施したが、平成29年度は農業研修生受入事業に直接結びつける進展はしていない。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農を目指す若者・女性の農業研修生受入を支援する体制の構築は重要であるので、新しい体制づくりの構築を含め推進していく。</li> </ul>
<p><b>食品加工・製造研修事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物加工品製造販売を目指す者が、製品の開発研究を行える機会を提供して、事業化の機運を醸成する</li> </ul> <p>(担当：農林課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品開発研究実績 5年間で10品目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度の具体的な事業実施なし。</li> </ul> <p>(平成29年度までの累計)</p> <p>H28 鹿追町食品加工センタ視察</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では難しいと思われるが、利用団体等を含め協議し、更なる推進・強化が必要である。</li> </ul>
<p><b>食品試験・分析費用支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の成分、栄養等に関わる試験分析を、研究機関に委託する経費を支援し、事業化を支援する</li> </ul> <p>(担当：農林課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品開発研究実績 5年間で20件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度の具体的な事業実施なし。</li> </ul> <p>(平成29年度までの累計)</p> <p>H27 新商品開発研究実績4件 H28 新商品開発研究実績4件</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も事業の周知を推進し、更なる推進・強化が必要である。</li> </ul>

<p><b>新規開店者・空き店舗活用開店者支援事業</b></p> <p>・市街地の新規開店・空き店舗活用支援策の対象区域について、現行市街地の指定区域外も支援対象区域とし、更に若者や女性の起業者を限定し、資金メニューの拡充を図り事業推進を支援する</p> <p>(担当：商工観光課)</p>	<p>・新規事業者 5年間で5件</p>	<p>・新規 4件</p> <p>平成 29 年度</p> <p>・店舗改修 4件 3,983 千円</p> <p>・家賃補助 2件 651 千円</p> <p>合計 4,634 千円 (一般財源)</p> <p>平成 28 年度は新規実績なし</p>	<p>A</p>	<p>・H29 年度に 4 件の新規開店があった。そのほか 1 件の相談があった。</p>
--	--------------------------	--	----------	---

(2) 若者や女性、意欲のある者が起業しやすい環境づくりを進める

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p><b>担い手対策事業</b></p> <p>・担い手コーディネータを設置し、農業実習(研修)生の受入れ、新規就農者に対する各種支援や研修会の開催など青年就農者の確保・育成や児童等を対象としたファームスクールの開催による農業に対する理解の醸成、後継者の花嫁対策などを実施する</p> <p>(担当：農林課)</p>	<p>・農業実習生の受入れ紹介数 5年間で10件</p> <p>・農業塾の新規入塾者数 5年間で25人</p> <p>・農業塾の開催講座数 5年間で25回</p> <p>・女性との交流会への参加人数 5年間で50人</p>	<p>・農業実習生の受入れ紹介数 水戸農高6件 9千円</p> <p>・農業塾の入塾者数8名</p> <p>・農業塾の開催講座数5回 3千円</p> <p>・女性との交流会への参加人数 15人 254千円 (平成29年度までの累計)</p> <p>・農業実習生の受入れ紹介数17件</p> <p>・農業塾の新規入塾者数 31人</p> <p>・農業塾の開催講座数 15回</p> <p>・女性との交流会への参加人数 103人</p>	<p>A</p>	<p>・農業実習生の受入れ体制づくりが重要ではあるが、現在のところ構築までには至っていない。</p> <p>・新規就農者に対する支援や、農業塾(担い手コース)の実施により、農業者の育成を推進する。</p> <p>・交流会への参加を呼びかけ、後継者対策を推進する。</p>

<b>新規開店者・空き店舗活用開 店者支援事業（再掲）</b> <small>（担当：商工観光課）</small> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center;">定住促進</div>	<small>（再掲項目につき、記載を省略し ます）</small>	<small>（再掲項目につき、記載を省略しま す）</small>	<small>（再掲項目につき、記載を省略 します）</small>
--	--	--	--

(3) 町民や事業者の需要を取り込み、町内の経済循環性を高める仕組みを作る

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<b>農業施設整備奨励事業</b> ・町内の建設業等が施工する農業施設整備を行う者に対するの支援を、町内で流通する商品券で交付して、農畜産業の生産力強化と町内経済循環を図る。 <small>（担当課：農林課）</small> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center;">産業振興</div>	・該当事業経費実績 5 年間で事業ベース 6,000 万円の経済効果	・交付実績 2 件 工事額：8,300 千円 交付額：480 千円 ※ハーモニー商品券 （一般財源） （平成 29 年度までの累計） 事業ベース：80,220 千円	A	・KPI で設定した経済効果を達成している。 ・町内業者の活用と町内で流通する商品券の交付により、町内経済循環を図るため、継続して実施する。 （平成 30 年度予算額） 2,000 千円（一般財源）



<p><b>住宅リフォーム・太陽光発電システム導入奨励事業</b></p> <p>・町内の建設業等が施工する住宅リフォーム等を行う者に対するの支援を、町内で流通する商品券で交付して、町内の住環境の整備を促進し、町内経済循環を図る</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">定住促進</p>	<p>・該当事業経費実績</p> <p>5年間で事業ベース</p> <p>2億5,000万円の経済効果</p>	<p>・リフォーム29件</p> <p>・太陽光0件</p> <p style="text-align: right;">交付額 2,756千円</p> <p style="text-align: right;">※ハーモニー商品券</p> <p style="text-align: right;">(一般財源)</p> <p>経済効果</p> <p>・工事金額 12業者 59,499千円</p> <p>(平成27～29年度合計)</p> <p>経済効果</p> <p>・工事金額 2億835万円</p> <p>(H27 148,720千円)</p> <p>(H28 68,220千円)</p> <p>(H29 59,499千円)</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>・町内の利用が促進され、域内経済の循環に寄与していると考ええる。</p> <p>住宅リフォーム奨励金について工事金額の平均額を考慮し15万円(5万円増)に拡充したので、定期的に町民周知を図る。</p> <p>太陽光発電システム導入奨励金については、町内事業者が少なく交付実績がない状況。</p>
--	---	---	--------------------------------------	--

(4) 正規雇用につながる取組みを進める

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成29年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p><b>業務資格取得支援事業</b></p> <p>・事業所が従業員及び内定者に、業務に必要な資格を取得させるために必要な研修、資格取得受験に対して支援を図る</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">定住促進</p>	<p>・資格取得者</p> <p>5年間で10人</p>	<p>・制度未制定</p>	<p style="text-align: center;">-</p>	<p>・資格取得による効果を精査し、事業化の実現性について検討を要する。</p>

## 2 まちにひとの流れをつくる

### <基本的方向>

(1) 地域資源を発掘・活用し、町民全体で情報共有して町内外に発信することで、市街地に人の流れをつくり、交流人口の拡大を図る

### <具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>観光情報発信拠点強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内観光事業者と連携し、観光情報・物産情報の発信の充実や、提供を行う拠点を整備することなどにより、来町者の町内回遊を図る（観光パンフレット、ホームページ等の充実（インバウンド対応等）、情報発信拠点強化など）</li> </ul> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内滞留人口の増加</li> </ul> <p>5年間で観光入込実績 10%増加を達成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーモニープラザ 1 階に十勝清水観光情報ステーションを開設し、観光案内・物産展示販売を実施。(物産販売 730 千円)</li> <li>・十勝千年の森において、観光案内・物産販売を実施。(物産販売 7,825 千円)</li> <li>・新商品トライアル販売による町内特産品の掘り起こしを実施。(15 品)</li> <li>・観光パンフレット作成(334 千円)</li> <li>・観光・物産 PR のためイベントに出展(札幌 2 回・東京 1 回 283 千円)</li> </ul> <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度 53,900 人</li> <li>・平成 27 年度 60,700 人</li> <li>・平成 28 年度 41,000 人</li> <li>・平成 29 年度 46,100 人</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな特産品の掘り起こし等に努めた結果、H29 年度は物産販売実績が大きく伸びた。</li> <li>・観光入込客数については、台風災害のあった H28 年度よりは増となったが、災害前ほどには回復していない。</li> <li>・観光物産振興をテーマに、商工会・農協・町の実務者による情報発信拠点整備検討・実践会議を開催したが情報共有以上のもとはならなかった。</li> <li>・各事業者に温度差があるが、より多くの事業者の参加による物産振興を進める必要がある。</li> <li>・意識改革とともに事業者が積極的にかつ主体的に活動できる仕組みの検討が必要である。</li> </ul>

<p>まちの魅力発見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町民自身がまちの魅力を再発見、理解し発信するための事業を実施する</li> </ul> <p>(担当：企画課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>		<p>まちの魅力をもっと知ってもらうことを目的に、次年度に向け、清水町らしい、四季折々に表情を変える町の風景写真を募集するフォトコンテストを企画した。</p>	<p>平成 30 年度にしみずフォトコンテストを実施し、優秀作品を表彰することにより、まちの魅力を再発見、理解し、発信する。</p>
--	--	---	--

(2) PR 活動や交流人口の拡大の取組みと連携しつつ、受入体制を整備し、大都市圏などから UIJ ターンを増加させる

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>移住交流促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本町へ移住を希望する方の相談に応じる「移住相談ワンストップ窓口」の設置と、本町に多様な人材の移住を実現するため、都市圏の就職フェア・移住フェアに積極的に参加するなど、情報発信を通して、移住人口、交流人口の増加。移住体験用住宅による体験移住受入れ。今後、空き家バンク等、斡旋を含めた住宅情報の提供体制整備を検討する。</li> </ul> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住件数 5 年間で 15 世帯 (30 名)</li> <li>同相談件数 5 年間で 450 件</li> <li>移住体験住宅利用件数 5 年間で 60 件</li> <li>同利用日数 5 年間で 1,500 日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住件数 7 世帯 18 人 (芽室町、鹿追町、札幌市、中頓別町、兵庫県、山形県)</li> <li>移住相談件数 6 件</li> <li>移住体験住宅利用件数 御影 6 件 8 人</li> <li>移住体験住宅利用日数 (延べ) 御影 125 日間</li> <li>移住促進業務委託料 523 千円</li> <li>北海道移住促進協議会負担金 50 千円 (一般財源)</li> <li>(平成 27~29 年度合計)</li> <li>移住件数 19 世帯 (50 人)</li> <li>移住相談件数 80 件</li> </ul>	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設業協会と連携した首都圏での移住フェアでは、前年の相談件数の約 2 倍の相談件数につながり、移住件数のうち 2 件は建設業協会の主体的な取り組みによるものである。</li> <li>台風 10 号災害により清水移住体験住宅が損壊し、御影住宅 1 棟での運営となった。H30 年度に旧北海道公宅を改修し清水住宅として再開する。</li> <li>空き地、空き家調査を実施したが、多くが空き家バンクへ登録済みであり、新たな優良物件はなかった。</li> <li>建設業協会とともに移住者を</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住体験住宅利用件数 33 件</li> <li>・同利用日数 712 日</li> </ul> <p>地域おこし協力隊については、H29 年度新たに 2 名任用したが退職。 (平成 27～29 年度合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住 2 人</li> </ul>		<p>増やす施策を立案する。</p>
<p><b>地域おこし協力隊定住支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度を活用することによって、地域おこし協力隊の職や定住に掛かる支援を行う (担当：企画課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊員の定住 5 年間で 3 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度末は、5 名の隊員が在任し、各種研修会に参加。その他、地域の活動にも積極的に参加している。</li> <li>・3 年目隊員 2 名</li> </ul> <p>(平成 29 年度合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住 3 人</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度、任期満了を迎える隊員に対し、定住に向けた支援策を検討する。</li> <li>・平成 30 年度、新たに 1 名の方の募集を行っている。</li> </ul>

定住促進

<p>日本学生支援機構奨学金返済支援事業</p> <p>・奨学金の返済をしながら町内に在住している者に、年間返済額の一部を支援</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<p>・町内就職者 5年間で10人</p>	<p>・制度未制定</p> <p style="text-align: center;">15</p>	<p>・町内の雇用不測解消や移住定住促進のため効果的な事業を検討していく</p> <p style="text-align: center;">-</p>
--	-----------------------	---	---

(3) 起業家や有資格者の若い世代を引き込むような仕掛けづくりを進める

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成29年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>移住交流促進事業（再掲）</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>	<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>		<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>
<p>清水町奨学金貸付事業</p> <p>・清水町奨学金条例の運用により、人材育成と町内雇用の改善、町内定住者への支援を図る。農業、商工業等職種要件を限定して償還免除規定を設けている。</p> <p>(担当：学校教育課)</p> <p style="text-align: right;">定住促進</p>	<p>・町内就職者 5年間で10人</p>	<p>・奨学金の貸付申請受付 ・奨学金の条例の見直し検討 ・貸付状況1件 (H28-1件 H29-0件)</p> <p style="text-align: right;">480千円 (一般財源)</p>	<p style="text-align: center;">C</p>	<p>・申請から支給決定まで時間を要すること、また、制度周知不足により申請件数が0件だった。 ・早期の支給決定、償還免除規定の職種要件撤廃、年1回から年間を通じた申請受付など、借り手が使いやすい制度に改善する。また、制度周知においても町内中学校、高校及び十勝管内高校等に生徒への周知を行ってもらう。</p>

### 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### (1) 若い世代の経済的安定と様々な支援を図り、結婚の希望をかなえる

##### <具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<b>結婚支援事業</b> ・若い世代に出会いの場を設け、婚姻率を高める (担当：農林課)  <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">安心・安全</div>	・カップル成立 5年間で10件達成	・平成 28 年度から実施し町内外での結婚希望女性とのカップリング等への参加及び実施。(札幌 2 回、十勝 3 回、町内 1 回) ・町HP 広告で女性 5 名が来町。 (平成 29 年度までの累計) ・H28 年度 カップル成立 9 件 H29 年度 カップル成立 18 件	A	・参加者への事前指導などにより、カップル成立並びに結婚への支援をする。

(2) 専門的な支援や社会・経済・職場環境の整備により、出産や育児にかかる負担や不安の軽減を図り出産の希望をかなえる

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p><b>不妊治療支援事業</b></p> <p>・特定不妊治療費を支給する制度を拡充・PRして、特定不妊治療に取り組んでいる町民の希望を後押しし、出生数の増加につなげる</p> <p>(担当：保健福祉課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">安心・安全</p>	<p>・サービス利用回数 5年間で延べ50回</p>	<p>・サービス利用回数：10回 (実人数6人) 町助成額2,176千円 (一般財源)</p> <p>(平成27年度合計)</p> <p>・サービス利用回数11回 (平成28年度合計)</p> <p>・サービス利用回数5回</p>	A	<p>・特定不妊治療費用の助成に加え、平成28年度から男性不妊治療費も対象としている。</p> <p>今後においても周知を行い、治療を希望する方の支援を継続する。</p> <p>(平成30年度予算額) 2,210千円 (一般財源)</p>
<p><b>健やかな出産支援事業</b></p> <p>・町で一部負担している妊婦健診について、受診費用の自己負担をなくして受診を促進し、妊婦への予防接種支援、ママパパ学級の実施、妊婦の事前登録により緊急時の救急車による搬送支援などと合わせてより安全な出産につなげる</p> <p>(担当：保健福祉課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">安心・安全</p>	<p>・妊婦健診必要回数の完全受診者 5年間で95%達成</p>	<p>・妊婦健診助成人数：41人</p> <p>・妊婦健診必要回数の受診者 100% 町助成額830千円 (一般財源)</p> <p>(平成28年度) 37人 100%</p>	A	<p>・平成29年度は未受診妊婦や、必要回数を受診していない妊婦はいなかった。妊婦健診費用の無料化は、必要回数の受診につながっている。</p> <p>今後においても周知を行い、妊娠・出産の支援を継続する。</p> <p>(平成30年度予算額) 1,586千円 (一般財源)</p>

<p><b>まちの子宝ありがとう事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の出産に感謝し、子育て世帯の経済的負担軽減のために、紙おむつ購入費の助成、出産祝い金を支給する。</li> </ul> <p>(担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: center;"><b>安心・安全</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年間の出生数合計 296人</li> </ul>	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙おむつ購入費助成事業 発行件数 53件 助成額 621千円</li> <li>・出産祝金支給事業 支給件数 49件 支給額 5,800千円 第1子16人、第2子20人 第3子8人、第4子～5人 (一般財源)</li> </ul> <p>(H27～H29年度の出生数154人)</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯の負担を軽減し、子育てしやすいまちを実現するため、子育て支援策を拡充し平成29年度から出産祝い金を支給した。(祝い金は現金及びハーモニー商品券)</li> </ul> <p>紙おむつ購入費助成事業は平成29年度をもって終了。</p> <p>(平成30年度は交付済み未精算分の予算504千円計上。)</p>
<p><b>子育て支援環境づくり事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体と共催し、父親向けの講演会、親子のあそびの場を提供して、町ぐるみで子育てを支える環境づくりをする。</li> </ul> <p>(担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: center;"><b>安心・安全</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 年間200名</li> </ul>	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しみずファミリーフェスティバル実行委員会から協力依頼があり、計画・実施にあたって職員の派遣等の協力を行った。</li> </ul> <p>町民提案型まちづくり活動支援補助金(企画課)</p> <p>フェスティバル参加者 319名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講演会を年3回 実施 述べ参加数 42組</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>継続した開催を支えるため、協力体制を整えていく。</p>
<p><b>子育て用品貸出し事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッド、ベビーバスなど、子育てに必須の道具を貸し出し、子育て家庭の負担軽減を図る。</li> </ul> <p>(担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: center;"><b>安心・安全</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付実績 5年間で50%増</li> </ul>	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出件数 ( )は保有台数 チャイルドシート 174件 (73) ベビーカー 26件 (20) ベビーラック 18件 (7) 備品購入費 565千円 (一般財源)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>利用は順調に伸びており、年齢や体重などの条件に合わせた調整を行うことで、おおむねニーズに沿った貸付をおこなっている。チャイルドシートの老朽化に伴い、継続的に更新しながら安全管理に努めている。</p>



<p><b>地域の子育て支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て援助を受けたい依頼会員と援助を行いたい提供会員の登録と調整により、子育ての相互援助を行う事業のサービス提供会員増員と技能向上や支援の拡充を図り、病後児の預かりなど対応の幅を広げ、サービスの向上を図る。</li> <li>また、10ヶ月未満の子供を地域の個人に預け、保育料を支払っている場合に、一部助成し、地域の中で子育て支援を推進する。</li> </ul> <p>(担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: center;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの利用時間 5年間で20%増</li> </ul>	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの利用時間 1,138時間</li> <li>・登録会員数 提供会員22名、依頼会員81名、両方会員8名(14名増)</li> <li>・提供会員の技能向上のために提供会員育成講習会を実施</li> <li>・乳児保育金利用数 2件 報償費 410,010円 乳児保育金 708,945円 (一般財源)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28、29年度は特定の利用者の継続的利用があり時間数が増加している。H30年度は、平常の量が見込まれるため、KPIの変更はしない。</li> <li>・継続的な送迎支援の依頼など、利用内容の変化や提供会員の高齢化に対応するため、引き続き提供会員の勧誘活動を強化する。</li> </ul>
<p><b>子育て世帯保育料等支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の児童を有する世帯において、第2子以降の保育料、保育所通所タクシー料、幼稚園保育料を無料として、多子世帯の育児の負担を軽減する。</li> </ul> <p>(担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: center;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所待機児童ゼロを継続</li> </ul>	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所待機児童数 0人</li> <li>・多子無料化児童数(H29当初) 保育所児童 : 152人/244人 幼稚園児童 : 19人/43人 通所タクシー : 20人/26人</li> </ul> <p>(平成28年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所待機児童数 0人</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童ゼロを継続</li> <li>・第2子以降の保育料を無料とすることで、保護者の経済的負担を軽減した。</li> <li>H28年度からは第1子の年齢要件を撤廃し、多子世帯の経済的軽減措置を拡大した。今後も継続し実施する。</li> </ul>

<p>子育て定住促進住宅取得奨励事業</p> <p>・子育て世帯の定住促進策として、町内への住宅新築を支援する。</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p style="text-align: center;"><b>定住促進</b></p>	<p>・新築住宅戸数</p> <p>5年間で10%増</p>	<p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新築(町内業者) 4件                   交付額 4,000 千円</li> <li>・新築(町外業者) 6件                   交付額 4,800 千円</li> <li>・中古住宅      1件                   交付額   500 千円</li> </ul> <p>合計交付額 9,300 千円 (一般財源)</p> <p>(平成27～29年度合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新築(町内) 9件 9,000 千円</li> <li>・新築(町外) 13件 10,400 千円</li> <li>・中古住宅   1件   500 千円</li> </ul> <p>合計交付額 19,900 千円</p> <p>※新築住宅戸数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>平成26年度(基準)</td><td style="text-align: right;">29戸</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td style="text-align: right;">29戸</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td style="text-align: right;">22戸</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td style="text-align: right;">29戸</td></tr> </table>	平成26年度(基準)	29戸	平成27年度	29戸	平成28年度	22戸	平成29年度	29戸	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内業者への誘引については評価が難しい。</li> <li>・今後も、町広報での周知のほか、建設業協会会員からの働きかけにより制度の認知度を向上させる。</li> <li>・住宅支援機構と事業連携協定を締結し、優遇金利を受けられるようになったので、あわせて周知をしている。</li> </ul>
平成26年度(基準)	29戸										
平成27年度	29戸										
平成28年度	22戸										
平成29年度	29戸										

(3) 地域資源を生かした特色のある教育や子育て環境を整備し、子育て世帯から選ばれるまちを目指し、若い世代の定住・移住を図る

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p><b>地域の特色を生かした教育推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期から英語に触れ、小学校で実施する英語活動の準備をする。また、将来、日常のコミュニケーションができるよう、小学校低学年からの英語活動（小学1年～4年まで）を推進する。</li> <li>・臨時教諭を採用し、小学校1年生及び2年生の学級を、20人程度の少人数の学級編成をして、授業から学校生活全般にわたってきめ細やかな指導を行い、基礎学力の定着を図る。</li> </ul> <p>幼稚園、保育所、小学校の関係者により組織された「清水町幼保・小連携協議会」により、幼保・小の連携を行い、幼児教育と小学校教育との適切な接続を図る。</p> <p>(担当：学校教育課・子育て支援課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、幼稚園の年間英語活動：24回（6回×4箇所）</li> <li>・小学校の年間英語活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生：10時間</li> <li>2年生：12時間</li> <li>3年生：15時間</li> <li>4年生：20時間</li> </ul> </li> <li>・清水小低学年の20人程度の少人数学級を維持</li> <li>・子どもの年齢、環境に切れ目のない対応を実現するため、幼保・小連携を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校においては、予定どおりの時間数で英語活動を実施した。 AET報酬等 4,679千円 臨時講師賃金等 692千円 (一般財源)</li> <li>・清水小学校の1年生については、町で1名雇用し少人数学級を編成。 賃金等 4,154千円 (一般財源)</li> <li>・幼保・小推進協議会において、清水ブロック、御影ブロックそれぞれが小学校への入学について、ストレスのないよう交流事業を実施した。 消耗品費 45千円（一般財源）</li> <li>・保育所・幼稚園の英語活動 4施設×年6回の開催 賃金等 39千円 (一般財源)</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時講師とAETが授業の補助として入り、子どもたちに対し、興味関心が高まるような活動内容が実施できた。</li> <li>・清水小学校において、少人数学級を編成し、基本的な生活習慣や学習規律に重点をおいて指導が実施できた。</li> <li>・各保育所、幼稚園、各小学校が相互の交流により、幼保と小学校がそれぞれの環境を理解した。また、保育士と教諭が保育と学習の違いを理解するなどの活動の成果があった。</li> </ul> <p>今後も継続する。</p>

安心・安全

<p>子育てガイドブック作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育てしやすいまち」として、子育て環境の PR を実施する。</li> </ul> <p>(担当：子育て支援課)</p> <p style="text-align: center;"><b>安心・安全</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象世帯への配布</li> <li>5年間で100%実施</li> </ul>	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援事業、保健事業等を通して、平成29年度出生50人の全保護者へ配布し、活用してもらっている。窓口に設置し、転入世帯にも配布した。(100%)</li> <li>・清水町の子育てを広く発信し、移住促進を目的としたリーフレット「清水町でのびのび子育て」は移住促進会での配布や観光施設、飲食店への設置を行っている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">印刷製本費 16千円 (一般財源)</p> <p>(平成28年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯配布100%</li> </ul>	<p>ガイドブック、リーフレットは町のHPで閲覧可能にし、更にPRに努めた。</p> <p>リーフレットには、清水町で受けられる子育てのサービスの一覧表を折り込み、更に見やすくわかりやすいように工夫していく。</p> <p>A 引き続き、リーフレット設置場所の拡大を図る必要がある。</p>
--	---	---	---

<p><b>子ども発達支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする子どもの家庭での育児不安の軽減や解消を更に進める為、相談対応の迅速化、療育計画アセスメント及びカンファレンスの充実と人材育成を図るための環境整備と研修の高度化を行う。(担当：子育て支援課)</li> </ul> <p style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経過観察児の対応</li> </ul> <p style="text-align: center;">5年間で100%達成</p>	<p><b>【平成29年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学までの経過観察児の対応 保育所、幼稚園（3～5歳児）</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">児童数</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">208人</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">経過観察児</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">138人</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">処遇確認</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">100%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 35件</li> <li>・訪問支援 21回</li> <li>・心理検査 51人</li> <li>・ことばの発達調査 103人</li> <li>・合同ケース会議 16回</li> <li>・幼保小コーディネーター会議 3回</li> <li>・研修、学習会 4回</li> </ul> <p style="text-align: right;">報償費 98千円 (一般財源)</p>	児童数	208人	経過観察児	138人	処遇確認	100%	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康推進係や学校教育係、所属所と連携を密にしてきたことで、経過観察児を適切な時期に状態を確認し、ケース会議等で検討して、その後の支援の方向を確認し合ってきた。今後は、発達支援プランをたてて、よりよい支援が展開されるよう充実を図る。</li> <li>・就学後の経過観察児の支援について、学校と協力し合って検討する。(訪問支援等)</li> </ul> <p>また、研修や学習会の機会を継続して作り、支援を必要とする子どもの理解を進めていく。</p>
児童数	208人								
経過観察児	138人								
処遇確認	100%								

#### 4 安心して生活しやすいまちづくりとともに、広域連携を推進する

##### <基本的方向>

(1) 健康で活動的な町民を増やし、コミュニケーションを高め、町民同士の連携と支援によるまちづくりの活動を活発にする

##### <具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>十勝清水 人・四季塾事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の潜在的人材の掘り起こし、まちづくりを進める魅力あるリーダーシップを有する人材を育成する「十勝清水人・四季塾」を開設することにより、清水町ならではの個性あふれるまちづくりを進める。(担当：企画課)</li> </ul> <p>定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座の回数 年間 8 回</li> <li>・塾生：20 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度に終了</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季塾第 3 期が提言発表会を終え修了となり、これまで 3 期 6 年間、58 名の方が修了されている。</li> <li>・人材育成事業としては、一定の成果は終えたものと捉え、今後に向けては、修了生を含め、町民のまちづくりに対する提言を具体化するための支援を行う。</li> </ul>
<p>シニア人材参画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技術・経験を活かして、元気なシニアがまちづくりのために活躍してもらう効果が期待できる。(担当：社会教育課)</li> </ul> <p>安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア人材の参画数 5 年間で延べ 100 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習ボランティアとして、52 名が登録された。(登録実績)</li> <li>平成 27 年度 延べ 53 人</li> <li>平成 28 年度 延べ 56 人</li> <li>消耗品 3 千円 (一般財源)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の効果があつたが、更に新規登録に向け推進する。</li> </ul>

<p><b>軽スポーツ促進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気なシニア層を生み、健康づくりに対する意識づけが期待できる。</li> </ul> <p>(担当：社会教育課)</p> <p style="text-align: center;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者延べ人数 5年間で10%増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニカールの参加者数 延べ18人</li> <li>・ニュースポーツ「チャレンジ・ザ・ゲーム」講習会の参加者数 延べ26人(2回)</li> </ul> <p style="text-align: right;">報酬費 39千円(一般財源)</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニカールは競技者が特定されていることから、新たに誰もが気軽に楽しみながら体力低下を防ぐ、ニュースポーツ「チャレンジ・ザ・ゲーム」の普及に向けて講習会を実施する。</li> </ul>
<p><b>町民提案型協働モデル事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民提案による住民協働で公共課題を解決する取組みを支援し、人材育成事業と連動して町民によるまちづくり事業を推進する。</li> </ul> <p>(担当：企画課)</p> <p style="text-align: center;">安心・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働事業 5年間で5件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度実施</li> <li>・町民が自ら企画し実施する公共性のある事業や活動に対して、補助金を交付し、協働のまちづくりを推進する。</li> </ul> <p>○町民提案型街づくり事業補助金 4件 897,566円 (一般財源)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しみずファミリーフェスティバル (しみずファミリーフェスティバル実行委員会)</li> <li>・清水町グルメ開発事業 (北海道清水高等学校)</li> <li>・備災害シンポジウム (十勝清水プラス)</li> <li>・健康寿命のまちづくり事業 (清水まごころネット)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民自らが自分たちの力で、地域の課題を解決し、地域の活力を生み出そうとするグループや団体を支援した。</li> </ul> <p>平成29年度においては4団体に補助金を計897,566円支出した。</p> <p>平成30年年度においても、継続事業を4件、新規事業を3件予算化しており、町民のアイデアを具現化するため更に支援を進める。</p>

<p>郷土愛醸成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の文化や文化活動を次世代に継承するため、第九などの事業奨励や、地域資源を学ぶセミナー・ワークショップ開催、十勝清水検定等実施により町に誇りと愛着を持つ町民を増やす。</li> </ul> <p>(担当：社会教育課・企画課)</p> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者数 年間 10 人</li> </ul>	<p>(第九事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会と共催による「北海道農民管弦楽団第 24 回定期演奏会 清水公演～清水町第九交響曲演奏会～」を開催。</li> </ul> <p style="text-align: right;">報償費 296 千円 (一般財源)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後とも継続して第九文化の継承事業を開催する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な事業を行うため、事業内容の検討を行う。 (セミナー・ワークショップなど)</li> <li>しみずフォトコンテスト 報償費 38 千円 (一般財源)</li> <li>ふるさと納税をとおした地域資源を学ぶ研修会等を開催予定 報償費 100 千円 (一般財源)</li> </ul>
--	--	---	--



(2) 将来、町民が安心して暮らせるよう、医療・福祉などの生活機能を確保する

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
清水町奨学金貸付事業(再掲) (学校教育課)	(再掲項目につき、記載を省略します)	(再掲項目につき、記載を省略します)		(再掲項目につき、記載を省略します)
交通弱者対策事業 ・コミュニティバスの運用充実などを図り、交通弱者の満足度を向上させる。 (企画課)	・コミュニティバス利用者 5年間で10%増	・清水巡回線 146 運行 2,467 人 ・御影巡回線 100 運行 742 人 3,874 千円 (一般財源) (実績) 平成 26 年度 3,499 人 平成 27 年度 3,620 人 平成 28 年度 3,175 人 ※台風災害による運休 (臨時便代行 45 人利用) 平成 29 年度 3,314 人	B	地域住民やコミュニティ団体、乗客の意見と需要状況を把握し、JRへの接続等も踏まえた中で、利便性の向上を目的に行っている「フリー降車制度」「回数券導入」による割引制度、高齢者の運転免許自主返納者に対する運賃減免制度をさらに周知して、需要増につなげる。また、新規事業として、農村部の交通弱者のため予約型乗合タクシーの実証運行や帯広方面への通院などの支援として清水帯広線バスの実証運行の補助を行う。

(3) 既存の施設などの資産を有効活用し、将来を見据えた安心・安全な公共サービスを提供する

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>観光情報発信拠点強化事業 (再掲)</p> <p>(担当：商工観光課)</p> <p>定住促進</p>	<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>	<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>		<p>(再掲項目につき、記載を省略します)</p>
<p>農村部におけるブロードバンド環境整備事業</p> <p>・農村部におけるブロードバンド環境整備を行い、情報伝達網や安定的な通信環境の確保を行う。</p> <p>(担当：総務課)</p> <p>定住促進</p>	<p>・町内全域の高速通信確保 5年間で完了</p>	<p>・市街地の一部においてブロードバンドサービスは提供済。</p> <p>・本町の大部分を占める農村部では民間の事業参入がなく、情報格差は解消されていない。</p> <p>・防災行政無線の基本設計に併せて各種伝達システムの比較検討を実施した。</p>	<p>—</p>	<p>・整備方法について、費用対効果を踏まえて慎重に検討する必要がある。</p> <p>・防災行政無線の更新計画において平成 30 年度に行う電波伝搬調査の結果を踏まえて整備方法を検討する。</p> <p>&lt;防災行政無線更新計画&gt;</p> <p>H30 実施設計</p> <p>H31 整備</p> <p>H32 運用開始予定</p>

(4) 広域連携を進め、効率的で有効な公共サービスを提供する

<具体的な施策>

P 施策 (事業内容)	重要業績評価指標 (KPI)	D 平成 29 年度実施内容 (実施に伴う事業費等)	C 評価	A 判定の根拠及び 今後の展開・改善点
<p>十勝定住自立圏の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結びつきやネットワークの強化に向け、まちづくりと連携したバス利用の促進に取り組む。</li> </ul> <p>圏域マネジメント能力の強化に向け、職員の合同研修などを継続するほか、産学官が連携し、ビッグデータ等を活用した十勝圏の現状分析を進める。</p> <p>(担当：企画課) <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">定住促進</span></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝管内の観光入込客 (延べ人数) 1,020 万人</li> <li>・十勝管内バス乗客数 462 万人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度実績については、平成 30 年 9 月頃に公表予定。</li> <li>・十勝管内の観光入込客 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度 (基準) 993 万人</li> <li>平成 27 年度 1,036 万人</li> <li>平成 28 年度 956 万人</li> </ul> </li> <li>・十勝管内バス乗客数 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度 (基準) 455 万人</li> <li>平成 27 年度 457 万人</li> <li>平成 28 年度 453 万人</li> </ul> </li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光の推進により、効率的な事業の実施や情報発信が可能となり、情報の共有により新たな観光資源の開発や周遊ルートの造成を推進する。</li> <li>・住民の移動手段の確保や利便性の向上を図るため、生活交通路線の維持確保と利用促進の取り組みを進める。</li> </ul>

<p><b>新たな広域連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の市町村や大学などとの連携に取組み、町の産業、観光、教育などの振興について、新たな視点とノウハウを取り入れた施策の取組みを進める。</li> </ul> <p>(担当：企画課)</p> <p style="text-align: right; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">定住促進</p>	<p>・各機関との連携事業の推進</p> <p>5年間で3事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝・イノベーション・エコシステム推進事業 負担金 100 千円 (地方創生推進交付金 1/2)</li> </ul> <p>(平成28年度) 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝アウトドアブランディング事業</li> <li>・十勝・イノベーション・エコシステム推進事業</li> <li>・クリエイティブ人材移住促進事業</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な創業、起業支援に向けた「とがち・イノベーション・プログラム」の周知などによる参加者の発掘と、取り組み事例の情報交換や人材の掘り起こし、各種取り組みへのマッチングなどを、11市町村で連携して推進する。</li> </ul>
--	-------------------------------------	--	--

清水町総合計画審議会 会議録（要約）

平成30年5月29日（火） 13:30～15:40  
清水町役場 2階 庁議室

出席者

委員：丸山良三、残間一憲、宝輪博継、横井豊、金子勇輝、池戸励、梶深雪、  
大橋亜砂子、大東孔美、川端和仁

（欠席：串田雅樹、原岡晃也、菅原克見、上谷明美、野田絢子）

アドバイザー：小林達也

（欠席：小寺泰介）

町長（阿部一男）

事務局：企画課長（松浦正明）、企画課長補佐兼政策企画係長（前田真）、  
政策企画係主任（阿部昌仁）、政策企画係主事（浅野康二郎）、（大和田成人）

傍聴者 0名

記者 0名

1 開会（企画課長～開会挨拶）

2 町長あいさつ

本日の清水町総合計画審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日開催します総合計画審議会については、第5期総合計画と連動しながら平成27年度に策定しました「人口ビジョン・総合戦略」における昨年度の実施内容と効果の検証に対する意見を賜りたく開催するものです。検証にあたっては、官公庁・報道関係者の方をアドバイザーとしてお迎えし、ご多用の中、お越しいただいたことに改めてお礼を申し上げます。

「人口ビジョン・総合戦略」策定にあたっては、町民・議会・行政がともに関わりながら、また、外部有識者の方の意見も取り入れながら策定されたもので、人口減少問題への対策となっています。この戦略は平成31年度までの事業計画となっていますが、毎年度実施事業の検証・見直しを行うこととなっています。

自分の政策と、この総合戦略は、かなりの部分で重なることがあると感じており、それだけに重要な計画だと認識しています。

今日の会議で、事務局から説明があると思いますが、清水町をはじめ十勝は他地域よりも人口減少の影響は小さい地域ではありますが、それに油断することなく、子育て支援、住宅政策等更に進めていかなければならないと考えております。

委員のみなさんにおかれましては、委嘱後、初めての会議の開催となりますが、本日は、感じるままに厳しい意見を頂戴したいと思っていますので、ご審議のほどよろしくお願い致します。

### 3. 4 委員紹介・アドバイザー紹介

企画課長より委員及びアドバイザーの変更に伴い紹介を行う。【資料1】  
事務局の紹介を行う。

## 5 会長・副会長の選出

町長

新たに委員を委嘱しはじめての会議でありますので、最初に会長、副会長の選出をお願いいたします。会長及び副会長については、委員の互選により選出することとなっています。

皆様のご意見をいただきたいと思います。どなたか会長及び副会長にご推薦はありませんか。

池戸委員

会長に丸山委員、副会長に残間委員を推薦します。

(拍手により承認)

町長

会長、副会長が決まりましたので、会長よりごあいさつをお願いします。

## 6 会長あいさつ(丸山会長)

ご推薦いただきましたので、会長をつとめさせていただきます。

何かとお忙しい中、清水町総合計画審議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。はじめての会議ということもありますが、今、町長からもいろいろなお考えを伺いました。皆さんの活発な意見をいただき審議会を進めて参りたいと思いますので、よろしくご協力のほどお願い致します。

## 7 諮問

企画課長

諮問書及び答申書は事務的なことであるので、この場では割愛させていただき、会議録の報告をもって答申にかえさせていただきます。

(町長退室)

## 8 協議事項

(1) 清水町人口ビジョン・総合戦略における平成29年度実施事業評価について

(課長補佐兼政策企画係長から①平成29年度人口動態について、課長から②平成29年度実施事業評価検証についてそれぞれ説明を行う。)

## 残間委員

昨年も同様の指摘をしたが、KPIの設定の根拠がわかりにくいと感じています。昨年度、既に達成しているものについては、更に高い目標を掲げたり、あるいは、KPIそのものを適正に設定する必要があるのではないのでしょうか。

8 ページの、観光情報発信拠点整備についての、判定の根拠及び今後の展開・改善点に「町民の中に観光で稼ぐという意識が低く」という表現がありますが、現実的に観光地ではない清水町で観光協会の会員が取り組んでいる中で、行政が町民に対して意識が低いという評価をしているのであれば残念なことであると感じます。

最初の KPI の設定の具体例として、12 ページの、結婚支援事業に関しても、カップル成立を5年間で10件と掲げており、既に、達成されているようであるが、本当に人口減少対策に取り組むのであれば、カップル成立の数を評価とするのではなく、実際に結婚し、清水町に定住するようになった件数を評価の対象とするくらいの気概がほしいと考えています。

更に 18 ページの子育てガイドブック作成事業においても、対象世帯に全てガイドブックを配布することが評価指標となっておりますが、配布するのは、当然のことと、さらにその先に目指すものを指標とするのが本来の姿なのではないのでしょうか。

## 企画課長

KPI については、5年間の事業のうち既に一昨年、昨年とA評価をしている事業もあるのが実態です。目標数値の見直しということもありますが、毎年度評価が高いものに関しても、来年、再来年の動向がわからないものなどは、目標設定は変えずにいた方が良い場合もあると考えております。

しかし、ご指摘のとおり、KPI 設定の根拠がわかりにくく、それが理由で、実施内容とその判定の根拠もわかりにくい記載もあるかと思えます。

情報発信拠点の判定の根拠における表現の方法も含め、担当課と協議の上、見直すところは見直していきたいと考えております。

また、子育てガイドブックの作成につきましては、対象世帯への配布はもちろん、子育てしやすい町として、町外にPRすることが目的となっており、今後PRを進めていきたいと思えます。

## 宝輪委員

今回、初めて委員として参加させていただきましたが、清水町はたくさんの事業を実施していること、教育に力をいれているということが改めてわかり大変ありがたいと感じています。

4つの大きな方針のもとそれぞれ項目をあげて具体的な事業を整理されているようであるが、項目と事業内容が、書類を拝見するだけではわかりにくいと感じるところがあります。

17 ページの、地域の資源を生かした特色のある教育や子育て環境を整備し、という項目の具体的な施策として、地域の特色を生かした教育推進事業というのがありますが、内容は英語教育になっております。

英語教育に力をいれてくれるのはもちろん素晴らしいのですが、地域資源を生かした特色のある教育と、AETによる英語授業が結びつく方は少ないと思えます。

地域資源を生かした特色のある教育とは、清水らしさを生かした教育なのではないでしょうか。

企画課長

清水の英語教育や少人数学級、幼保小連携などの取り組み事態は先進的であるが、ご指摘のとおり、地域資源を生かしたという表現とはあっていないかもしれません。地域の資源を広い意味で理解していただきたいと存じます。

大橋委員

先ほどの残間委員からの指摘にもありましたが、子育てガイドブックを作成して、対象世帯に配布したから A 評価なのではなく、人口減少対策を考えるのであれば、ここに書いてある清水町が子育て支援に力を入れていることを、他町村にアピールする努力が必要だと思います。

企画課長

町のホームページや、各種媒体をつかってPRするよう努めていきたいと思えます。

池戸委員

7 ページの業務資格取得支援事業は未実施のようですが、清水町内の企業は人材確保に非常に苦勞しています。この事業が実施されれば、会社としては雇用条件の強みになるので、ぜひ実現してほしいと思えます。

企画課長

町内の企業等から資格の種類等、意見を伺って検討したいと思えます。

梶委員

昼間人口と夜間人口の差について説明がありましたが、その差について、男女比、職種別、理由等は把握しているのでしょうか。

人口減少について、正しく分析、把握し、対象がわかっているのであれば、子育て支援についても、そこに向けて更にPRしていく必要があると考えております。

企画課長補佐

現在、清水町は昼間人口の方が多いうことは先ほど説明しましたが、その原因を全ては把握できていないものの、転入、転出の状況等から分析すると、清水町には、他町村と比較して、大きな工場、会社が存在することが主な要因であると思えます。本町には、日甜、ホクレン、プリマ、更に福祉施設等、多くの従業員を抱えている法人がたくさんあります。近隣市町への転出が多いということは、帯広市、音更町、芽室町から、清水町のそれらの企業に通勤をしている方が多いと分析しています。あとは、教員などの公務員、サラリーマン等、転勤が多い職種も、他の町から通勤している方が多いと分析しております。

通勤の大きな理由は、やはり子供の教育、子育て環境にあると考えており、子育て支援に重点をおいた政策を実施しているところです。

ご指摘がありました子育て支援のPR不足については、行政として率直に反省しなければならないことだと思います。役場課長職で構成する本部会議においても、町長からその旨、指摘がありました。本部会議では子育て支援課長から、年間数件、電話により、保育所の待機児童についての問い合わせがあり、それを判断材料にして清水町に定住するかを決める子育て世帯もあるようです。まずは、子育て環境の



充実しているところに住み、そこから会社のある市町村に通勤するというのが当たり前の時代になっています。

清水町は、子育て支援政策は、全道、全国的にみてもトップクラスであると考えています。しかし、早くから子育て支援政策に取り組んだことにより、職員にとっては既にそれが当たり前の事業となっており、新規施策で無いため、対外的なPRをおろそかにする例もあるようです。今後は、行政としても、その自覚をもって、各種メディア、マスコミ等にそれを発信していく必要があると考えています。

#### 小林アドバイザー

ここまで、人口減少の分析、傾向を細かくしている市町村は数少なく、会議での情報共有が素晴らしいと感じました。

人口減少の理由を、管内近隣市町と把握できているのであれば、管内市町村との差別化、PRが社会減への対応の柱になると思います。

PRが上手な町としては、上士幌町を想像する方が多いと思いますが、子育て支援政策の内容は清水町も上士幌町も大差ないと感じました。地道ではありますが、SNSやホームページを活用したり、大きな会社へのPRに力を入れてはと思います。

さらに、子育て政策のPRが成功した先には、住宅政策等が今後の課題になると思われるので、将来に向けて、政策のバランスを考え、人口の取りこぼしが少なくなるようにされてはと感じました。

#### 川端委員

委員としてはじめて事業評価を拝見したが、27年度、28年度にどういった経過で評価がされたかわからないので、経緯がわかると議論が深まると思いました。

資料2で平成28年度の御影地区の出生数が5名になっており、緊急の課題であると考えているようですが、行政としては、いつの時点でどのような対策をするつもりなのかでしょうか。

結婚対策をすすめるのであれば、若い夫婦が住めるような賃貸住宅を整備する必要があると思います。御影地区に就職先がたくさんあるわけではないので、空き地を活用し、かつての住宅団地のようにベッドタウンとまでは言わないが、御影地区に住んでもらう工夫が必要であると思います。

#### 企画課長補佐

本部会議においても、御影地区の出生数の話に対する意見がたくさんでした。

役場は予算の都合により年度単位で事業実施することが多いのですが、対策を早くうったほうが効果的なものについては、新年度まで待つつもりはありません。

例えば、結婚対策等は先ほどからカップリングパーティ等のカップル成立をもって終わりとしていますが、結婚相談所との連携や、お見合い世話人の登録制度など、本格的に行政が対策を講じる必要があると考えています。

#### 大東委員

先ほどからお話にでてるように、清水町は夫婦で住むことができる住宅が、少ないような気がします。

子育て支援策は、子供の医療費の無償化など親の立場として大変ありがたいと感じています。

バイオマス利活用促進事業に関しては、本当に酪農家のコストダウンにつながる

のかは疑問を感じることもあります。

清水町は、牛や豚、アスパラなどたくさんおいしいものがとれますが、名前は全国に知れていないと思います。たまに第九のまちなどと言われることがありますが、清水町の魅力は町外に伝わっていないような気がしています。

#### 企画課長補佐

住宅政策に関しては、人口減少している以上、過去のように公営住宅の戸数を増やすということにはならない状況にあります。色々な方法が考えられますが、民間の力を活用し、世帯向けのアパート等の建設に対し、行政が助成をしていく方向になると考えています。

町のPRについては、ご指摘のとおり戦略的に取り組んでいないのが現状です。企画課は、広報という仕事もしているため、今後、シティプロモーションについて検討し、他市町村に負けないよう工夫していきたいと思っています。

#### 横井委員

移住・定住の記事が十勝毎日新聞に掲載されていたが、環境的には清水町は負けていないと思います。清水町は世帯数は増えているのに人口が減っています。単身者住宅の割合に対して、世帯向けの賃貸住宅が少ないとの話がでていましたが、融資を担当している者としては、世帯向けのアパート建設の相談があった際は、実際に、需要等を調査するのですが、トマムの従業員は、清水町が距離的にも生活圏であるが、住宅がないので、芽室町や帯広市に住居をかまえる方が多いようです。私どもとしては、移住・定住の需要があるのにとりこぼしているように感じています。

先ほどの民間住宅の建設については、行政としては直接補助金を出して建設を促す方法もありますが、建設は民間、行政がそれを借り上げるという方法もあるので、どの方法が清水町にとって最善なのかを検討されてはどうかと思います。

#### 金子委員

初めて参加しましたが、農家の立場から発言したいと思います。

4ページにある農業研修生受入事業に関しては、取組みは悪くはないのですが、受入れる農家の衣食住の負担が大きいです。昔と違って、住み込みで実習することが参加する側、受入れる側も難しくなっている中、受入れに関しては行政から住宅の斡旋支援が必要だと感じています。清水町は生乳生産量が増えており、研修希望者にPRできる部分がたくさんあるので、力をいれていただきたいと思っています。

#### 企画課長

農協とも連携しながら、検討していきたいと思っています。

#### 丸山会長

たくさんのご意見をいただきましたが、他にございませんか。

#### 小林委員

委員のみなさんから、清水町の事業PR、シティプロモーションについて、積極的に進めてはとの意見が多かったように感じています。振興局の記者クラブも、ぜひ活用しながら、更にPRをされてはと思います。

#### 丸山会長

大変貴重なご意見賜りましてありがとうございます。本日の審議会の意見につい

て町長から答申を受けてございますので、後日会議録を委員の皆さんに送付させていただきますまして、正式な答申とさせていただきますと思います。

(町長入室)

## 9 その他

丸山会長

事務局よりその他何かありますか。

企画課課長補佐

本日いただいた意見は、全てご指摘のとおり正しいご意見だと感じています。

いただいたご意見は、町長に会議録として答申するとともに、率直に受けとめ、清水町役場全体で協議し、今後の人口減少対策につなげたいと思います。

企画課長

今後、昨年も実施した各種団体との協議も開催予定です。その際にもたくさんのご意見をいただければ幸いです。

町長

別の公務を終えて役場に戻ってきたところ、議論が白熱していたようなので、再度参加させていただきました。

たくさんのご意見をいただき、本当に感謝しています。説明にもあったかと思いますが、人口は減少しますが、清水町は、他の町から比べると、ポテンシャルが高く、まだまだ取り組めることがたくさんあります。

役場やみなさんの力をあわせ、清水町みんなの力で、様々な事業に取り組むことが、次世代の清水町の豊かさにつながると思います。

今後におかれましても、まちづくりへのアイディア、厳しい意見、さらに事業へのご協力をしていただければと存じます。

本日は本当にありがとうございました。

## 9 閉会

企画課長

閉会にあたりまして丸山会長よりご挨拶をいただきまして終了したいと思います。

丸山会長

大変長時間ご審議賜りましてありがとうございました。貴重なご意見、アドバイザーの皆さんから賜りまして本当にありがとうございました。ただいま町長からのお話にもありましたとおり、委員の皆さんのご意見は、またいろんな形でまちづくりに反映していただければと思います。本日は誠にありがとうございました。

【総合計画審議会説明資料】

# 清水町人口ビジョン・総合戦略

平成30年5月29日

清水町企画課

# 道内人口 25%減400万人

## 2045年 十勝管内の人口推計

	人口		増減率	2045年人口
	2015年	2045年		
帯広	16759327	1479749	11.6	39.3
上士幌	4754807	37785	15.7	43.4
士幌	6132	4362	28.9	39.4
新得	4765	2862	39.9	40.3
新得	5542	4251	23.3	35.0
新得	6288	3667	41.7	41.3
新得	9599	6753	29.6	42.2
新得	178484	173620	26.3	48.8
中札内	3966	3067	22.7	39.9
中札内	3185	2425	23.9	40.4
大正	5738	3977	30.7	38.4
大正	7030	3392	51.7	50.2
大正	275760	275284	14.6	44.3
大正	6882	3195	53.6	60.9
大正	3182	1622	49.0	46.3
大正	7358	3130	57.5	56.6
大正	6990	3603	48.5	43.2
大正	2482	1275	48.6	42.7
大正	4919	2149	56.3	45.7
管内合計	3473436	2773725	20.3	41.5
管内合計	53871733	40074973	25.6	42.8

## 管内主要市の人口

	2015年	2045年	減少率
札幌	195万2356	180万5120	7.5
旭川	33万9605	24万8360	26.9
函館	26万5929	16万2712	38.8
釧路	17万4742	11万4040	34.7
帯広	17万2737	14万0442	18.7
小樽	16万9327	14万9749	11.6
小樽	12万1924	6万0424	50.4
小樽	12万1226	8万2362	32.1
小樽	12万0636	8万5067	29.5

管内でも人口減少が顕著な市町村がある。管内主要市の人口は、2015年と2045年を比べると、減少率は7.5%から50.4%に達する。中でも、旭川市(26.9%)、函館市(38.8%)、釧路市(34.7%)、帯広市(18.7%)、小樽市(50.4%)の減少率が顕著である。管内主要市の人口減少率は、2015年と2045年を比べると、減少率は7.5%から50.4%に達する。中でも、旭川市(26.9%)、函館市(38.8%)、釧路市(34.7%)、帯広市(18.7%)、小樽市(50.4%)の減少率が顕著である。

# 十勝人口 2045年27万人

## 帯広14.9万人、4町半減

国立研究所推計

高橋氏が40%を推定するのは、15年時点での推計値を基準とした。45年時点では、帯広市の人口は14.9万人と推定され、15年時点の19.9万人から20%減少する見込みである。管内主要市の人口減少率は、2015年と2045年を比べると、減少率は7.5%から50.4%に達する。中でも、旭川市(26.9%)、函館市(38.8%)、釧路市(34.7%)、帯広市(18.7%)、小樽市(50.4%)の減少率が顕著である。

## 2045年推計

### 65歳以上 42%に

道内減少率が最も高い15市町村のうち、帯広市は2045年時点での推計人口が14.9万人と推定され、15年時点の19.9万人から20%減少する見込みである。管内主要市の人口減少率は、2015年と2045年を比べると、減少率は7.5%から50.4%に達する。中でも、旭川市(26.9%)、函館市(38.8%)、釧路市(34.7%)、帯広市(18.7%)、小樽市(50.4%)の減少率が顕著である。

# 85市町村で半減

管内主要市の人口減少率は、2015年と2045年を比べると、減少率は7.5%から50.4%に達する。中でも、旭川市(26.9%)、函館市(38.8%)、釧路市(34.7%)、帯広市(18.7%)、小樽市(50.4%)の減少率が顕著である。

### 2045年の道内市町村人口推計

市町村	2015年人口	2045年推計人口	減少率
札幌市	1952356	1805120	7.5%
旭川市	339605	248360	26.9%
函館市	265929	162712	38.8%
釧路市	174742	114040	34.7%
帯広市	172737	140442	18.7%
小樽市	169327	149749	11.6%
小樽市	121924	60424	50.4%
小樽市	121226	82362	32.1%
小樽市	120636	85067	29.5%



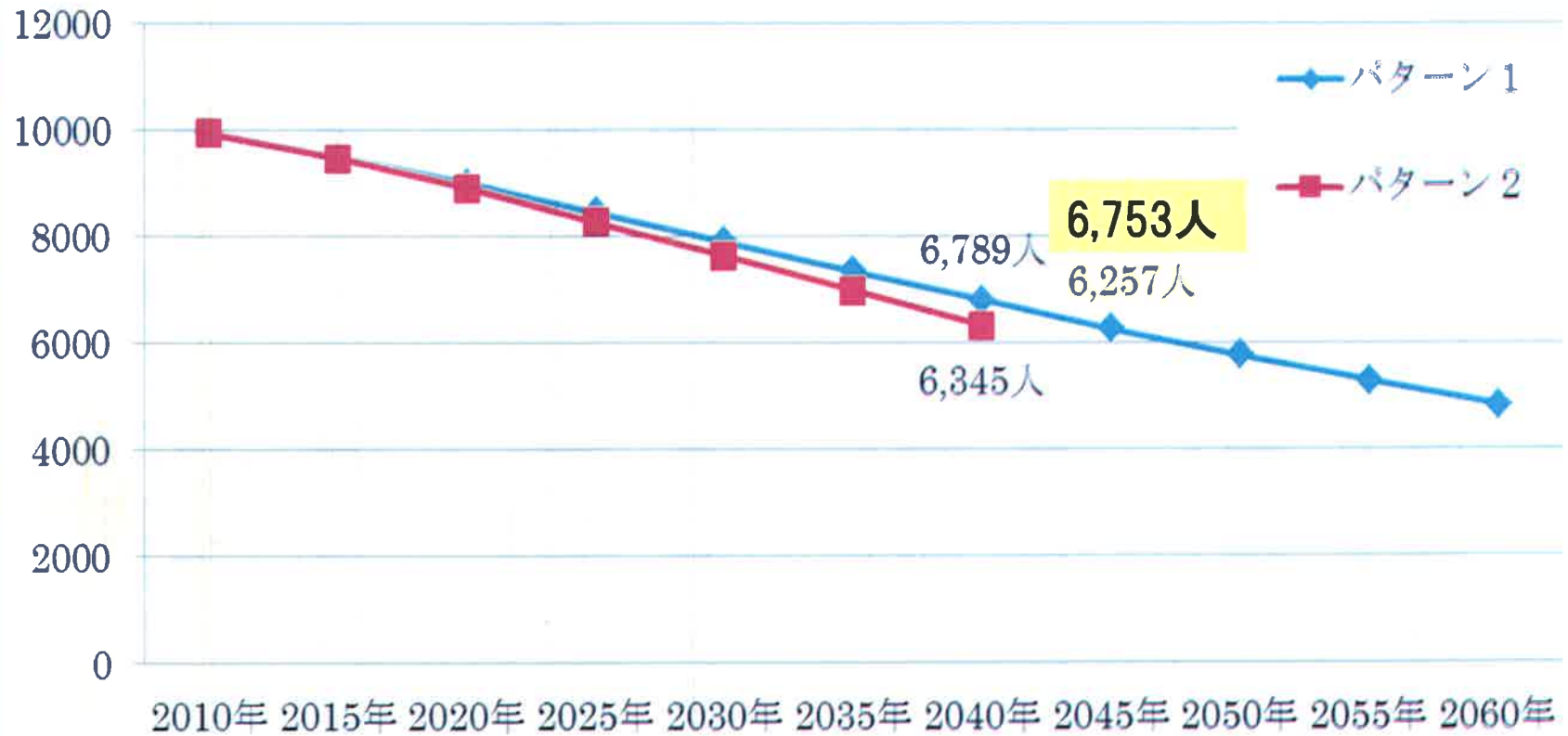
札幌市で、道内主要市町村の人口推計を説明する。左から、道庁関係者、市町村関係者、関係者らによる説明。

# 人口推計(2045年の十勝)

			2015年国調		2045年推計		減少数		
			人口	順位	人口	順位	人口	率	率順位
帯	広	市	169,327	6	149,749	4	19,578	11.56%	5
音	更	町	44,807	18	37,785	15	7,022	15.67%	8
幕	別	町	26,760	26	22,841	22	3,919	14.64%	7
芽	室	町	18,484	39	13,620	28	4,864	26.31%	15
清	水	町	9,599	59	6,753	48	2,846	29.65%	20
士	幌	町	6,132	86	4,362	66	1,770	28.86%	18
鹿	追	町	5,542	93	4,251	67	1,291	23.29%	13
大	樹	町	5,738	89	3,977	71	1,761	30.69%	23
新	得	町	6,288	84	3,667	78	2,621	41.68%	53
足	寄	町	6,990	80	3,603	80	3,387	48.45%	85
広	尾	町	7,030	78	3,392	83	3,638	51.75%	104
池	田	町	6,882	81	3,195	87	3,687	53.57%	115
本	別	町	7,358	75	3,130	89	4,228	57.46%	140
中	札	内	3,966	124	3,067	91	899	22.67%	12
上	士	幌	4,765	109	2,862	94	1,903	39.94%	48
更	別	村	3,185	141	2,425	106	760	23.86%	14
浦	幌	町	4,919	104	2,149	113	2,770	56.31%	137
豊	頃	町	3,182	142	1,622	131	1,560	49.03%	88
陸	別	町	2,482	160	1,275	148	1,207	48.63%	86

十	勝	計	343,436		273,725		69,711	20.30%	
全	道	計	5,381,733		4,004,973		1,376,760	25.58%	
札	幌	市除く計	3,429,377		2,199,853		1,229,524	35.85%	
全	道	町村計	986,561		553,838		432,723	43.86%	

## 清水町人口の推計結果



	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
Pa1	9959	9483	8991	8448	7890	7334	6789	6257	5758	5283	4835
Pa2	9959	9483	8920	8290	7642	6991	6345				
目標			9048	8587	8123	7684	7257	6840	6459	6104	5780

パターン1は、全国の移動率が、平成32年までに半分程度に縮小すると仮定（社人研推計準拠）

パターン2は、全国の総移動数が、平成22年～27年の推計値と概ね同水準で推移すると過程（日本創生会議推計）

【資料2】

平成29年度(2017年度) 清水町人口移動集計表

	転入					出生	転出					死亡	その他 増減	世帯数	人口
	管内	道内	道外	国外	合計		管内	道内	道外	国外	合計				
3月末														4,677	9,647
4月末	25	31	15	0	71	2	37	18	10	1	66	11		4,699	9,643
5月末	15	7	10	4	36	1	13	3	5	1	22	19		4,705	9,639
6月末	5	7	8	4	24	6	14	4	3	3	24	10	1	4,704	9,636
7月末	12	7	5	5	29	7	7	3	6	1	17	11	-2	4,709	9,642
8月末	6	4	11	3	24	6	16	6	2	2	26	17	-1	4,704	9,628
9月末	10	3	5	4	22	0	12	3	3	0	18	10		4,702	9,622
10月末	7	4	4	3	18	8	7	5	6	4	22	6		4,698	9,620
11月末	8	7	8	2	25	6	16	3	1	2	22	18		4,703	9,611
12月末	8	3	4	2	17	4	8	8	2	4	22	13		4,702	9,597
1月末	3	5	6	0	14	1	16	3	7	0	26	18		4,700	9,568
2月末	6	7	7	0	20	5	14	6	4	0	24	9		4,695	9,560
3月末	31	25	20	0	76	4	40	35	22	2	99	8	-4	4,707	9,529
H29合計	136	110	103	27	376	50	200	97	71	20	388	150	-6		

(H29合計) 転入者数合計 376人 転出者数合計 388人 社会増減 Δ 12人  
 出生者数合計 50人 死亡者数合計 150人 自然増減 Δ 100人 合計 Δ 112人

人口動態の推移

	社会増減			自然増減					増減
	転入数	転出数	増減	出生数			死亡者数	増減	
				清水地区	御影地区	合計			
H25年度	371	426	Δ 55	57	12	69	133	Δ 64	Δ 119
H26年度	362	376	Δ 14	49	16	65	127	Δ 62	Δ 76
H27年度	420	409	11	52	10	62	121	Δ 59	Δ 48
H28年度	353	420	Δ 67	38	5	43	117	Δ 74	Δ 141
H29年度	376	388	Δ 12	39	11	50	150	Δ 100	Δ 112

自然増減 = 出生 - 死亡者  
 Δ 70 ~ Δ 120名くらいで推移する

社会増減 = 転入 - 転出  
 Δ 10 ~ 60名くらいで推移する

近隣市町村への転出超過



年度	管内転入者				
	家族世帯		単身者	外国人	合計
	件数	人数			
H27. 4~8	16	39	58	3	100
H27. 9~	9	19	66	0	85
H27合計	25	58	124	3	185
H28. 4~8	11	28	45	2	75
H28. 9~	10	29	43	0	72
H28合計	21	57	88	2	147
H29. 4~8	5	14	46	3	63
H29. 9~	9	21	52	0	73
H29合計	14	35	98	3	136

年度	管内転出者				
	家族世帯		単身者	外国人	合計
	件数	人数			
H27. 4~8	11	32	49	0	81
H27. 9~	11	30	71	1	102
H27合計	22	62	120	1	183
H28. 4~8	14	36	42	1	79
H28. 9~	20	58	78	1	137
H28合計	24	94	120	2	216
H29. 4~8	8	21	64	2	87
H29. 9~	16	40	73	0	113
H29合計	24	61	137	2	200

**家族世帯**

**転入－転出**

**14件35人－24件61人＝△10件26人**

**単身世帯**

**転入－転出**

**98人－137人＝△39人**

# 単身者の転出先・年齢構成(十勝管内)

年度	単身転出者転出先							
	管内							
	計	帯広市	芽室町	音更町	幕別町	新得町	鹿追町	その他
H27.4~8	49	28	2	8	3	2	1	5
H27.9~	71	39	8	7	2	4	4	7
H27合計	120	67	10	15	5	6	5	12
H28.4~8	42	20	9	2	1	3	3	4
H28.9~	78	45	12	5	2	10	1	3
H28合計	120	65	21	7	3	13	4	7
H29.4~8	64	34	7	6	3	5	0	9
H29.9~	73	35	10	6	4	4	2	12
H29合計	137	69	17	12	7	9	2	21

・転出先は、清水町より人口規模が大きい市町と近隣町で84%を占める。

・年齢構成は20~34才が、56%を占める。

年度	単身転出者管内														
	年齢構成別														
	合計	0~9	10~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~79	80~
H27.4~8	49	0	3	11	4	4	3	5	5	3	6	1	0	2	2
H27.9~	71	0	8	20	7	8	5	1	4	4	2	1	3	5	3
H27合計	120	0	11	31	11	12	8	6	9	7	8	2	3	7	5
H28.4~8	42	0	3	9	11	3	3	2	0	1	1	1	0	5	3
H28.9~	78	0	2	29	12	4	1	3	7	7	7	0	1	0	5
H28合計	120	0	5	38	23	7	4	5	7	8	8	1	1	5	8
H29.4~8	64	1	4	15	12	5	2	4	5	3	1	3	0	2	7
H29.9~	73	0	6	23	9	12	4	3	3	1	1	1	2	3	5
H29合計	137	1	10	38	21	17	6	7	8	4	2	4	2	5	12

# 単身者の転入元・年齢構成(十勝管内)

年度	単身転入者転入元							
	管内							
	計	帯広市	芽室町	音更町	幕別町	新得町	鹿追町	その他
H27.4~8	58	32	4	4	4	4	3	7
H27.9~	66	34	1	11	3	4	0	13
H27合計	124	66	5	15	7	8	3	20
H28.4~8	45	23	2	3	1	5	1	10
H28.9~	43	19	4	3	3	5	1	8
H28合計	88	42	6	6	4	10	2	18
H29.4~8	46	23	5	3	3	3	3	6
H29.9~	52	23	5	4	4	7	1	8
H29合計	98	46	10	7	7	10	4	14

・転出先は、清水町より人口規模が大きい市町と近隣町で86%を占める。

・年齢構成は20~34才が、72%を占める。

年度	管内転入者 年齢構成別													
	0~9	10~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~79	80~
	H27.4~8	9	9	19	23	10	6	4	2	4	8	2	1	1
H27.9~	3	9	22	10	10	6	3	5	5	3	2	2	2	3
H27合計	12	18	41	33	20	12	7	7	9	11	4	3	3	5
H28.4~8	5	12	11	11	9	3	9	8	3	0	2	2	0	0
H28.9~	8	8	19	14	6	2	3	4	2	2	0	1	1	2
H28合計	13	20	30	25	15	5	12	12	5	2	2	3	1	2
H29.4~8	1	6	15	7	10	3	7	1	3	7	0	2	0	1
H29.9~	5	13	10	10	10	6	3	2	2	0	2	0	0	1
H29合計	6	19	25	26	20	9	10	3	5	7	2	2	0	2

# 家族世帯の転出先・年齢構成(十勝管内)

年度	家族世帯転出先							
	管内							
	計	帯広市	芽室町	音更町	幕別町	新得町	鹿追町	士幌町
H29.4~8	8	2	2	1			1	2
H29.9~	16	6	6	4				
H29合計	24	8	8	5			1	2
	(61)	(21)	(19)	(12)			(2)	(7)

年度	管内転出者													
	年齢構成別													
	0~9	10~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~79	80~
H27.4~8	6	7	3	3	2	0	1	2	2	1	1	0	4	0
H27.9~	7	1	0	2	5	6	2	0	4	0	0	1	1	2
H27合計	13	8	3	5	7	6	3	2	6	1	1	1	5	2
H28.4~8	6	2	2	5	1	4	2	2	2	1	4	2	2	2
H28.9~	14	8	0	4	11	4	7	3	2	0	0	0	1	5
H28合計	20	10	2	9	12	8	9	5	4	1	4	2	3	7
H29.4~8	3	3	3	9	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0
H29.9~	6	5	0	4	2	4	4	2	1	1	0	1	9	1
H29合計	9	8	3	13	3	4	5	2	2	1	1	2	9	1

# 家族世帯の転入元・年齢構成(十勝管内)

年度	家族世帯転入者転入元							
	管内							
	計	帯広市	芽室町	音更町	幕別町	新得町	鹿追町	その他
H29.4~8	5	1	2	1		1		
H29.9~	9	3	4			1	1	
H29合計	14	4	6	1		2	1	
	(35)	(9)	(14)	(3)		(6)	(3)	

転出超過  
 帯広 4件 12人  
 芽室 2件 5人  
 音更 4件 9人

年度	管内転入者													
	年齢構成別													
	0~9	10~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~79	80~
H27.4~8	8	1	3	12	6	3	0	0	3	2	2	1	1	0
H27.9~	3	1	1	4	3	1	2	0	2	0	0	1	1	0
H27合計	11	2	4	16	9	4	2	0	5	2	2	2	2	0
H28.4~8	5	2	1	4	5	1	4	3	2	0	1	2	0	0
H28.9~	8	2	3	6	4	1	1	0	1	1	0	1	1	0
H28合計	13	4	4	10	9	2	5	3	3	1	1	3	1	0
H29.4~8	1	2	2	1	2	0	2	1	1	4	0	1	0	0
H29.9~	5	2	0	8	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0
H29合計	6	4	2	9	5	0	3	2	2	4	0	1	0	0

2-9 常住地及び従業地・通学地による人口

(国勢調査、各年10月1日現在)

年	総数 (夜間人口) ※	常住地(清水町)による人口				
		従業も通学も していない	自宅で従業	自宅外の 清水町内で 従業・通学	道内他市区 町村で 従 業・通学	道外で従 業・通学
昭和 50	13,481	4,292	...	...	...	...
55	13,352	3,786	2,916	6,039	610	1
60	13,281	3,939	2,589	6,072	678	1
平成 2	12,031	3,589	2,442	5,098	900	1
7	11,325	3,624	1,989	4,865	846	—
12	10,988	3,781	1,686	4,546	974	1
17	10,464	3,951	1,477	4,040	961	—
22	9,961	3,860	1,414	3,566	950	1

(つづき)

年	従業地・通学地(清水町)による人口		
	総数 (昼間人口)	うち道内他 市区町村 に常住	うち道外に 常住
昭和 50	13,881	400	...
55	13,333	587	5
60	13,173	569	2
平成 2	11,995	865	—
7	11,396	912	5
12	11,144	1,130	1
17	10,673	1,168	2
22	10,208	1,195	3

夜間人口
—
昼間人口
人
△ 400
19
108
36
△ 71
△ 156
△ 209
△ 247

清水町は、他市町村から働きに来ている人の方が多い

# 総合戦略の基本的な考え方

- ① 自立性：積極的・柔軟な取組み
- ② 将来性：次世代へ価値の底上げ
- ③ 地域性：本町の現状分析・将来予測
- ④ 直接性：町民、産業界、団体との連携
- ⑤ 結果重視：KPIの設定

## ■方針1

まちの産業を確立し、安心して働ける  
ようにする

## ■方針2

まちにひとの流れをつくる

## ■方針3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望  
をかなえる

## ■方針4

安心して生活しやすいまちづくりとともに、  
広域連携 を推進する



## ■方針1

まちの産業を確立し、安心して働けるようにする

### 【基本目標】

- ・雇用創出数：5年間で30人
- ・農業粗生産額：約250億円  
(平成26年度：約230億円)
- ・製造品出荷額等：約230億円  
(平成25年度：約217億円)
- ・民間事業所数：500事業所  
(平成24年度：497事業所)

## ■方針2

# まちにひとの流れをつくる

### 【基本目標】

- ・純移動数：5年間で転出超過50人削減  
(平成21年～25年：転出超過148人)

## ■方針3

# 若い世代の結婚・出産・子育て の希望をかなえる

### 【基本目標】

- ・出生数:5年間で300人  
(平成27年～平成32年:279人)
- ・合計特殊出生率:5年後に1.6  
(平成20年～平成24年:1.53)

## ■方針4

安心で生活しやすいまちづくり  
とともに、広域連携を推進する

### 【基本目標】

・住みやすさ満足度：5年後に80%

(町民意識調査：76.1%)